

公差設計を助ける各種セミナー 設計DXを助ける各種ソリューション

株式会社 アシストエンジニア

【推奨】公差設計 & 幾何公差セミナー

■ 実践的 **推奨**

【eラーニング+Webセミナー】

- 公差設計『基礎』 : eラーニング+Webセミナー
- 幾何公差 : eラーニング+Webセミナー
- 公差設計『応用』 : eラーニング+Webセミナー

公差設計「応用」は、eラーニング+Webセミナーのみ : 80,000円

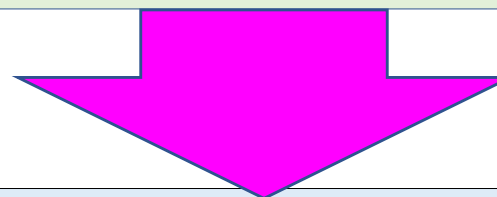
公差基礎・幾何公差共に : 70,000円

eラーニング (2.5H~5H)

- ・ 基礎知識の習得
- ・ Stepごとの理解度テスト

Webセミナー (1day)

- ・ 総合演習
- ・ 実践活用のノウハウ



公差設計 スキル認定試験 10,000円

- ・ 自らの設計業務の自信と周囲の信頼
- ・ 公差設計の推進リーダー、社内指導者として活躍
- ・ 受験者3,096名 (2021年9月時点)
- ・ 1~4級まで (93名の1級取得者が誕生)

詳細は、以下URLにて。
<https://www.planer.jp/KousaSkill.html>

■ その他 Webセミナー(4H)「3DA (実践的幾何公差表記)」

25,000円

【まず】公差設計 & 幾何公差セミナー

■ 知識優先

【eラーニング】 25,000円

- 公差設計 『基礎』
- 幾何公差

eラーニング
(2.5H~5H)

- ・ 基礎知識の習得
- ・ Stepごとの理解度テスト

または、

【Webセミナー 4H】 25,000円

- 公差設計 『基礎』
- 幾何公差

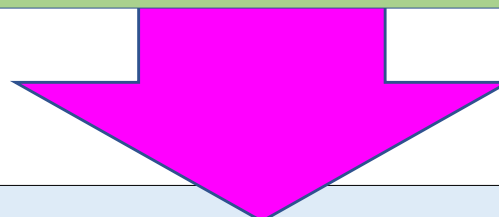
Webセミナー
(4H)

- ・ eラーニングの内容と同じ



Webセミナー (1day) 50,000円

- ・ 総合演習・実践活用のノウハウ



公差設計
スキル認定試験 10,000円

- ・ スキル認定試験は、Webセミナー (1day) 受講が条件
- ・ スキル認定試験は、1~4級の認定

■ その他 Webセミナー(4H) 「3DA (実践的幾何公差表記)」

25,000円

公差設計・幾何公差セミナー日程

コース	日程	日程	日程
公差設計【基礎】	5月27日（金）	8月4日（木）	11月28日（月）
幾何公差	6月10日（金）	8月31日（水）	12月9日（金）
公差設計【応用】	6月28日（火）	9月16日（金）	12月23日（金）

<https://assist-now.lmsg.jp/form/25728/9zu62u3j>

公差セミナーお問い合わせURLより ご希望の日にちをお問い合わせ内容に記載ください。

具体的なセミナー内容も弊社HPより確認ができます。

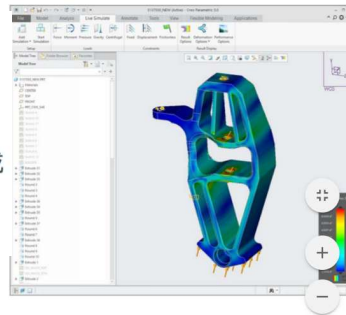
3DCADデータ活用の様々なソリューション

解析 (CREO SIMULATION LIVE)

Creo Simulation Live は 3D 設計による調査/検討に、従来の電卓や表計算ツールに加え、新たな仕掛けとして Creo Parametric に完全統合された リアルタイムシミュレーション を全てのエンジニアに提供します。

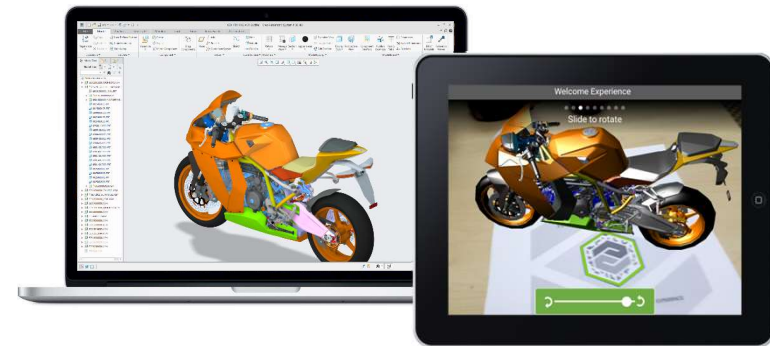
Creo Simulation Live が提供するもの

- **スピード** – 部品やアセンブリの即時シミュレーション
- **使い勝手の良さ** – 初回シミュレーションも素速く実行
- **ジオメトリの有効化** – 解析実行中に形状を容易に編集、作成
- **インタラクティブ** – ユーザがジオメトリに修正を加えると解析結果はダイレクトに更新



拡張現実 (VUFORIA)

拡張現実体験をCreoから直接出すことで、より実体験に近い設計のレビューを簡単に作成できます。



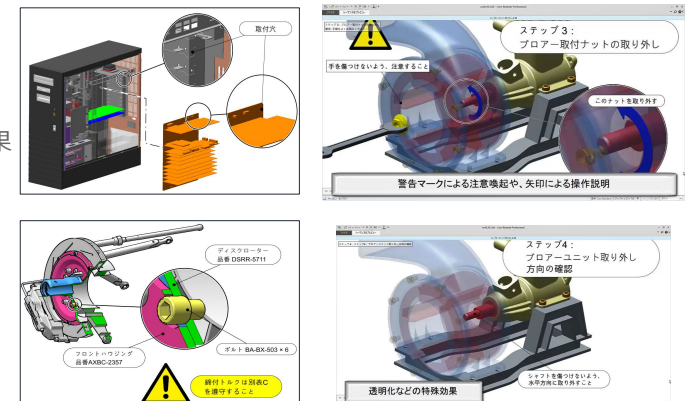
3Dデータの後工程での活用 (CREOILLUSTRATE)

テクニカルイラスト

- モデルを様々な表示形式に切替え
- 自動的に輪郭線の強調や線の間引き
- 断面表示、部分拡大表示
- Creo Parametric のモデルデータとのリンクを保持するので設計の変更も自動反映
- 部品リストやコールアウト (バルーン) も簡単作成

高度なアニメーション

- モデルの位置や表示方向を記録
- Creo Parametricで作成した機構のアニメーションを利用
- 点滅、表示/非表示、フェードイン/アウトなどの特殊効果
- 注記や画像データも利用可能
- アニメーションも設計変更に合わせて自動修正

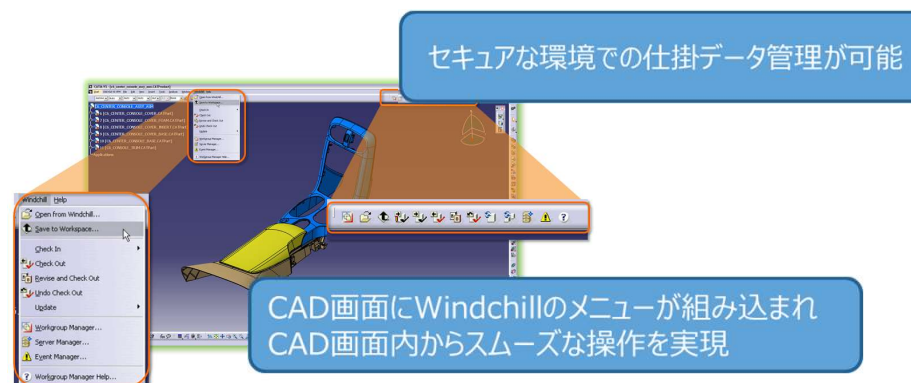


WindchillによるマルチCADデータ管理

部門間で異なるCADをお使いでもトレーサビリティを確保したDX化

主要なCADのデータを正確に管理できます

- **Windchill機能がCADと標準連携**
 - CADからWindchillの機能を実行
 - CADの画面から出ることなく、Windchill機能にアクセス
- **セキュリティを考慮したコンカレント設計環境の提供**
 - チェックイン、チェックアウト、ダウンロード
 - Windchillに格納されたCADデータへのアクセス管理
- **依存関係・参照の管理**
 - 3Dモデル、図面、部品の関係性を管理
 - 改定が発生しても正確に関係性を維持可能
- **Windchill側から直接編集可能**
 - 名前変更、別名保存
 - モデルや図面のプロパティをWindchill内で管理・編集可能（双方向連携）
- **標準機能でCADデータ管理からPLMへの拡張性**
 - データのライフサイクル管理、変更管理
 - BOMの自動作成
 - ビューデータの自動生成
 - ビューアーにて注記・コメント保存



Creo7.0 Generative Design by AI Frustum

- AIと解析を駆使したGenerative Design
 - Frustumの技術により
 - 材料
 - 加工方法
 - 設計要件
 - 最適形状作成
 - Simulation Live and AIM
 - 流体
 - 熱応力
 - パフォーマンス
 - AIM搭載



特徴的な製品群

Creo Elements / Direct版・SOLIDWORKS版 公差設計支援ソフト

設計者向け3次元公差設計ソフトウェア

TOLERANCE JAPAN (TOL J) for Creo Elements / Direct

TOLERANCE JAPAN (TOL J)は、設計者が設計の中で効率的に公差設計が行える3次元公差設計ソフトウェアです。製品を組み立てる際の各構成部品の間つきから発生する品質問題の未然解決、公差値の最適化によるコストダウン設計が実現できる設計者必須の技術が公差設計です。

公差値を決定できるのは、製品を構成する部品の相互関係がわかっている設計者だけです。しかし、これまで設計者が効率的に扱えるソフトウェアが無く、限られた製品しか公差設計ができない、あるいは公差値の決定を第三者に委ねるということによる公差の検討不足に起因する品質問題があることをよく耳にしています。

TOLERANCE JAPAN(TOL J)は、設計業務の負荷をかけることなく、ガタ及びレバー比を含む複雑な製品の公差設計が行えることにより、設計者がストレス無く公差設計が行える初めての3次元公差設計ソフトウェアです。設計される製品の公差設計実施率を大幅に上げることで、公差の検討不足による無駄なコストアップ、トライアンドエラーによる手戻り、設計品質問題を削減し、QCDの改善に役立てることが出来ます。

導入によるメリット

TOLERANCE JAPAN(TOL J)活用による公差設計環境⇒公差設計実施率100%を目指す



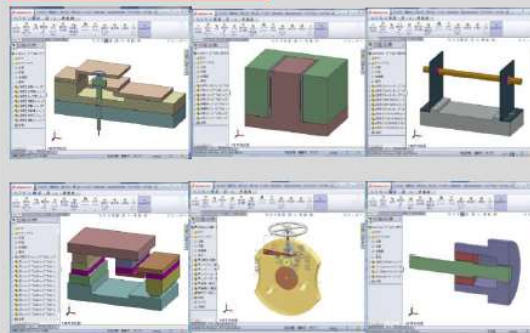
従来の公差設計環境(実施率10%)

手計算



■手計算は、あらゆるケースの公差設計はできるが、効率が上がらない。

TOLERANCE JAPAN (TOL J)



■設計者が効率的に設計を行えることにより、全ての開発製品において公差の検討が可能。

これまで手が回らなかった製品も公差設計を確実に実施し、公差検討不足による無駄なコストアップ、手戻り、品質問題を削減する！

こんな方々にお勧め

● 設計品質を上げたい

- ・ 製造現場によく呼ばれる
- ・ 毎回、現場での品質調整に追われる
- ・ 設計品質についてのロジカルな説明

● コストの見える化（削減をしたい）

- ・ コストに見合わない公差付
- ・ 加工に困る公差付
- ・ 品質確保のための現地調整

● 公差における社内標準化をしたい

- ・ ベテラン社員の退職
- ・ コロナ禍でのOJTの不足
- ・ 製造業としての存続

その他

- 設計業務のご支援

- お客様先にてCreo・CreoElements/Directを利用した設計に従事している設計者も多数抱えております。

◆3DCAD 導入 ◆データ管理導入
◆設計開発・CADオペレーション ◆教育・アドバイザー
◆評価試験 ◆生産技術 ◆デザイン

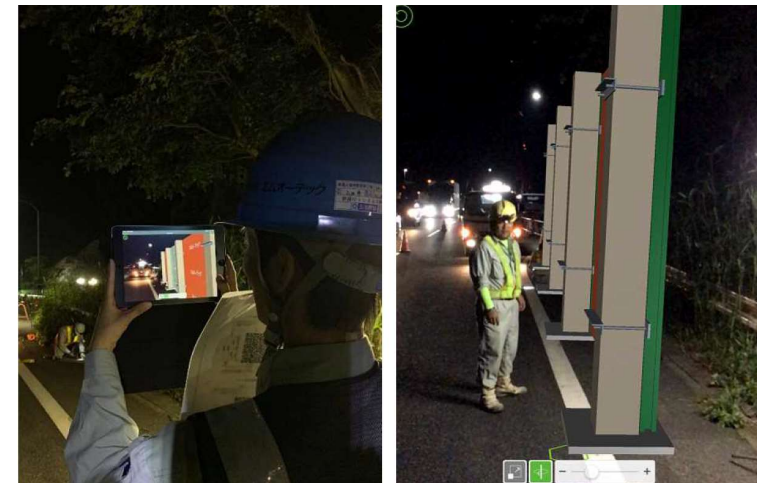
自動車・産業機械・航空関連など多数の実績

- ARなどの有効活用事例

- 重仮設業向け事例

- Creo CreoElements/Directの設計データをARへ
- 人材不足、人材確保、工程管理、手戻り削減

- ライセンス管理製品



新時代のモノづくりをサポート

ASSIST *e*NGINEER

(株)アシストエンジニア

弊社HP: www.assist-now.com

東京 : TEL 03-6809-3735

名古屋 : TEL 052-462-1961